場所　愛知県豊田市

面積　66ha

活動目的　サイト内に生息している希少動植物の保全を行い、生物多様性活動の推進をするため。



サイト概要

本サイトは、愛知県豊田市小原地区に位置し、福利厚生施設（以下、こじま苑）として利用されており、里山環境が形成されている。このこじま苑では希少な動植物が数多く観察されており、その保全として、生物多様性保全活動を推進・実施している。

2017年より、生物多様性保全活動の中心的活動となる植生/昆虫調査を、専門家同席のもと、2回/月の頻度で実施してきた。小島プレスと専門家の他、グループ企業のこじま苑の管理会社の従業員や大学の学生3名程度を合わせた6～7名程度で、年20日程度ラインセンサスを行い、その中で植物相や開花状況の調査、チョウ類/トンボ類の調査を継続して実施している。

土地利用の変遷

こじま苑の土地を譲り受けた当初は、工場用地として利用予定だったが、前会長が「この自然を生かすべきだ」と考え、人間が手を加え自然になじむ姿（＝里山）へ変化するよう約50年もの間、維持/管理を行ってきた。
約15年前から希少動植物の保護活動を実施。グループ企業の社員8～9名の常駐者を中心に、保全活動を250日/年程度実施している。2017年からは、更なる希少動植物の保全のため、専門家を招いた植生/昆虫類調査を開始。こじま苑には、多くの希少植物や昆虫類が自生していることが分かっている。

サイト周辺の環境

アベマキやコナラを中心とした落葉広葉樹の二次林からなる環境が広がっている。

アピールポイント

2017年から、更なる希少動植物の保全のため、専門家を招いた植生/昆虫類調査を開始。こじま苑には、多くの希少植物が自生していることが確認できた。適切な間伐を行い日光を確保することや、苑内の竹を加工して製作した竹串を利用し、目印を立てる事など、様々な取り組みを行い、保全に努めている。

生物多様性の価値

価値（3）里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場

【場の概況】

こじま苑は、広大な土地に様々な植物が自生しており、人が手を加えて管理を行うことで、二次的な自然環境が広がっている。具体的には、間伐を行うことで光を取り込み、植物の生育する多様な環境を保全するなどしている。里山としての管理を常駐従業員が行っており、草刈りや農地、湿地の管理等も計画的に実施しているため、特徴的な環境の形成、特徴的な種の生息が確認されている。

【主な植生】

申請区域内における主な植生は、アベマキやコナラを中心とした落葉広葉樹の二次林であり、ヨシ群落、水田耕作地、ため池がある。

【確認された主な動植物など】

・コバノミツバツツジ（*Rhododendron reticulatum* D.Don ex G.Don）
・ネジキ（*Lyonia ovalifolia* (Wall.) Drude var. *elliptica* (Siebold et Zucc.) Hand.-Mazz.）
・アセビ（*Pieris japonica* (Thunb.) D.Don ex G.Don subsp. *japonica*）
・リョウブ（*Clethra barbinervis* Siebold et Zucc.）
・コシアブラ（*Chengiopanax sciadophylloides* (Franch. et Sav.) C.B.Shang et J.Y.Huang）
・ヤマザクラ（*Cerasus jamasakura* (Siebold ex Koidz.) H.Ohba）
・コバノガマズミ（*Viburnum erosum* Thunb.）
・シロモジ（*Lindera triloba* (Siebold et Zucc.) Blume）
・ショウジョウバカマ（*Heloniopsis orientalis* (Thunb.) Tanaka）
・ノギラン（*Metanarthecium luteoviride* Maxim.）
・タチツボスミレ（*Viola grypoceras* A.Gray var. *grypoceras*）
・ウツボグサ（*Prunella vulgaris* L. subsp. *asiatica* (Nakai) H.Hara）



写真の説明：コバノミツバツツジ



写真の説明：ショウジョウバカマ

生物多様性の価値

価値（4）生態系サービスの提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場

【場の概況】

社員とその家族を対象に、1回/年「植生観察会」を実施し、また、春と秋に「散策の集い」として自由散策の機会を設けており、従業員が自然体験をする場として利用しており、未来へ繋ぐ環境人材の育成をしている。また、苑内の竹を加工して柵や竹串を製作したり、間伐材を薪として加工して再利用、藁は竹藪に敷く、など資源を捨てずに再利用する取り組みを行っている。

【主な植生】

申請区域内における主な植生は、アベマキやコナラを中心とした落葉広葉樹の二次林である。

【確認された主な動植物など】

植生調査の中で、植物が312種、昆虫が92種確認されている。

・アギスミレ（*Viola verecunda* A.Gray　var. *semilunaris* Maxim.）
・ウワミズザクラ（*Padus grayana* (Maxim.) C.K.Schneid.）
・シライトソウ（*Chionographis japonica* Maxim.）
・アイナエ（*Mitrasacme pygmaea* R.Br.）
・ハルリンドウ（*Gentiana thunbergii* (G.Don) Griseb. var. *thunbergii*）
・ヤマボウシ（*Cornus kousa* Buerger ex Hance subsp. *kousa*）
・ササユリ（*Lilium japonicum*）
・ムカシヤンマ（*Tanypteryx pryeri*）
・マイコアカネ（*Sympetrum kunckeli*）
・ハッチョウトンボ（*Nannophya pygmaea*）
・チョウトンボ（*Rhyothemis fuliginosa* Selys）
・カモシカ（*Capricornis crispus*）



写真の説明：　「植生・昆虫観察会」の様子



写真の説明：竹で作製した柵

生物多様性の価値

価値（6）希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場

【場の概況】

調査の中で、環境省レッドリスト及び愛知県レッドリストに掲載されている植物11種、昆虫類3種が確認されている。また、県によっては絶滅危惧種に指定されている東海地方の湿地環境を特徴づけるハッチョウトンボも確認されている。

生物多様性の価値

価値（7）分布が限定されている、特異な環境へ依存するなど、その生態に特殊性のある種が生息生育している場又は生息生育の可能性が高い場

【場の概況】

湧水湿地やため池において、希少種が生育生息している。湧水湿地は1箇所あり、3,241㎡である。また、ため池は5箇所あり、それぞれ、6,450㎡、1,000㎡、763㎡、593㎡、333㎡となっており、大きさや深さなど異なる環境のため、多様性が高く、希少種の生息の場となっている。このような、湧水湿地やため池という特殊環境について、この多様な生息環境を守り植生遷移を防ぐため、水辺環境を保全している。

【確認された分布限定種、特異な環境へ依存する種】

貧栄養湿地を生息環境とする種など、希少な植物3種が確認されている。

サイトの活動計画・モニタリング計画

活動計画の内容

<活動目的>
本地域の里山空間を維持・保全するとともに、自然共生社会の構築について、普及・啓発活動を推進することを目的とする。

<活動内容>
こじま苑は、広大な土地に様々な植生が自生しており、人が手を加えて管理を行うことで、二次的な自然環境が広がっている。具体的には、間伐を行うことで光を取り込み、植物の生息する多様な環境を保全するなどしている。里山としての管理を常駐従業員が行っており、草刈りや農地、湿地の管理等も計画的に実施しているため、特徴的な環境の形成、特徴的な種の生息が確認されている。
また、ため池や湿地については、大きさや深さなど異なる環境のため、多様性が高く、希少種の生息の場となっている。このような、湧水湿地やため池という特殊環境について、この多様な生息環境を守り植生遷移を防ぐため、水辺環境を保全している。

<実施体制・計画の点検・見直し>
グループ企業の管理会社の社員8～9名の常駐者を中心として、活動その他維持管理作業を行う。本活動計画の作成、更新及び実施にあたっては、専門家の助言を継続する。
また、専門家の方々と社長や役員との意見交換の場も設けられており、トップの声も反映される仕組みとなっているため、今後もこの体制が継続して維持される見込みである。

モニタリング計画の内容

【モニタリング対象】
・植物相や開花状況、チョウ類/トンボ類
・二次林の環境
・開空度及び水質

【モニタリング場所】
二次林、ため池、湿地、竹林等

【モニタリング手法】
ラインセンサスを行い、その中で植物相や開花状況の調査、チョウ類/トンボ類の調査を実施。
15箇所で開空度調査、10箇所で水質調査（pH,DO,電気伝導度,温度）を実施。

【モニタリングの実施時期及び頻度】
2回/月で年間20回程度実施している。

【モニタリング実施体制】
・社員
・専門家2名
・グループ企業でこじま苑の管理会社の従業員
・大学の学生3名程度